

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間： 令和4年4月1日 から 令和5年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市教育文化センター	
(2) 施設の設置目的	
市民に生涯学習と文化活動の場を提供するとともに、教育に関する研究及び教育関係職員の研修等を行うことにより、文化の発展と教育の振興に資するため	
(3) 所管部局	
教育委員会事務局 教育センター 企画相談課	
(4) 指定管理者名	
JTBコミュニケーションデザイングループ (株式会社JTBコミュニケーションデザイン、南海ビルサービス株式会社、株式会社東急コミュニティー)	
(5) 指定期間	
令和2年4月1日から令和7年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
・ 施設等貸出業務(中文化会館) ・ プラネタリウム室・天体観測室・科学展示コーナー運営業務 ・ 駐車場・駐輪場の管理運営業務 ・ 利用料金等の收受業務 ・ 施設利用案内業務、情報コーナー等に関する業務 ・ 施設等の維持管理業務(中文化会館・プラネタリウム・教育センター・中図書館等) ・ 自主事業(文化芸術振興事業及び生涯学習推進事業等) ・ 市への協力及びその他の業務	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
文化・教育施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民・教職員	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
無	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	・大阪880万人訓練にあわせた避難訓練・指定避難所開設訓練や、防災士監修の災害想定訓練を継続して実施している。 ・新型コロナウイルス感染症への対応については、所管課とも連携を密に行い、市内他施設との対応の差が出ないよう努めた。 ・個人情報保護に関しては、申込書を鍵付き棚に保管するなど管理徹底を継続している。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	・職員配置については令和3年度より大きな変更はなく、人材育成に関しては、コンプライアンス研修を指定管理者構成企業全体で実施し、全職員のコンプライアンス意識の向上を図った。 ・施設の維持管理等に関しては、光熱水費の高騰により当初収支計画から大きな乖離が発生しているため修繕費の執行見直しを余儀なくされているが、利用者サービスのレベルが落ちないよう優先順位を付けながら適宜実施している。
施設の設置目的に沿った事業の実施	新型コロナウイルス感染症の影響も緩和されたので、事業については感染症対策を万全として順次実施している。
その他特筆すべき取組	令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響は残っており、利用者数等はコロナ禍前の水準にはまだ回復していない。

イ 市による状況分析

利用者数は令和3年度より回復傾向を示しているが、新型コロナウイルス感染症の影響は依然残る中、堺市施設予約システムの更新により、インターネット上で各室の仮予約を可能とした利便性の向上をPRするなど、利用者目線に立ち安全・安心で利用しやすい施設運営に取り組んだ。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
指定管理者名	JTBコミュニケーションズグループ	JTBコミュニケーションズデザイングループ	JTBコミュニケーションズデザイングループ	JTBコミュニケーションズデザイングループ	JTBコミュニケーションズデザイングループ
利用者数(単位:人)	225,456	74,239	83,888	142,761	—
稼働率(単位:%)	54.6	42.2	47.6	57.2	—
利用者満足度(単位:%)	96.5	97.0	98.8	96.4	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進	新型コロナウイルス感染症をきっかけに開始したSNSを継続して実施。新たに地域コミュニティアプリピアッツァ(PIAZZA)を開始し、天文情報等の発信を強化し、誘客促進を行った。
意見・苦情・要望等への対応	大きな苦情・要望は発生していない。
その他特筆すべき取組	施設利用者からの消毒や換気など新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策の相談に応じた。飲食を伴う料理サークルや茶道サークル利用者が安心して施設を利用できる環境を整えることにより施設利用の回復を促進した。

ウ 市による状況分析

- ・利用者モニタリングを実施し、その結果をふまえ施設申し込み手続きの簡素化を図るなどの改善を行った。
- ・感染症防止の取組を積極的に行うなど、施設の快適性やスタッフの対応についての利用者満足度も高い評価を得ている。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (予算)
指定管理者名		JTBコミュニ ケーションズグ ループ	JTBコミュニ ケーションデザ イングループ	JTBコミュニ ケーションデザ イングループ	JTBコミュニ ケーションデザ イングループ	JTBコミュニ ケーションデザ イングループ
収入	指定管理料	177,627,511	170,396,000	170,396,000	170,396,000	150,998,968
	利用料金	53,580,950	29,268,296	37,407,306	64,323,204	71,794,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他	9,732,272	17,989,832	24,869,029	9,381,758	26,388,801
合 計		240,940,733	217,654,128	232,672,335	244,100,962	249,181,769
支出	人件費	112,555,121	106,554,412	104,487,350	106,851,100	101,856,000
	委託料	70,916,004	79,163,964	73,130,217	79,649,504	80,872,600
	総支出額に占める 委託料の割合	27.3%	31.4%	30.2%	30.0%	32.5%
	修繕費	3,572,289	1,260,330	1,038,180	1,113,074	2,600,000
	光熱水費	30,217,126	27,711,615	29,063,999	41,958,124	29,300,000
	その他	42,316,537	37,768,749	34,758,128	35,785,640	34,553,169
合 計		259,577,077	252,459,070	242,477,874	265,357,442	249,181,769
収支差額		-18,636,344	-34,804,942	-9,805,539	-21,256,480	0
(市への納付金の額)		—	—	—	—	—
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (予算)
収 入		22,323,313	7,096,745	4,789,780	6,119,225	13,578,460
支 出		27,873,040	18,282,321	8,030,615	15,110,447	17,874,779
収支差額		-5,549,727	-11,185,576	-3,240,835	-8,991,222	-4,296,319
(市への納付金の額)		2,367,360	2,338,771	8,891	8,891	8,891

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務	・光熱費高騰のため支出増が膨らんだが、利用者のいないフロアの消灯や電球の間引きを行い収支の安定に努めた。 ・その他収入には市の休館等指示で還付した令和3年度の利用料金等相当額として市が支払った1,789,507円及び感染拡大防止経費675,013円を含む。
------------	---

ウ 市による状況分析

・光熱費が高騰する中、経費削減対策を利用者に影響を及ぼすことのない範囲で積極的に取り組んだ。また、館長会議の場で共有し、施設全体として取組を行ったが光熱費の影響は大きく、収支差額はマイナスとなった。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
プラネタリウム番組数	20本以上	24本
学習投影開催件数(年間実施回数)	155回以上	174回
学習投影開催件数(堺市小学校参加率)	70%以上	44.0%
施設稼働率(年間日数稼働率)	60%以上	57.2%

■利用者サービスの向上

指標	目標	実績
利用者の満足度	97%以上	96.4%
中文化会館利用者数	162,000人以上	142,761人
プラネタリウム観覧者数	44,000人以上	33,667人

■収支

指標	目標	実績
利用料金等収入	57,000千円以上	64,323千円

イ 市による状況分析

コロナ禍から回復傾向にある中でも、利用者が安心して来館できるようにエントランス入口等に消毒液の設置、啓発チラシの掲示、清掃等を業務仕様に基づき適切に実施できており、利用者満足度は高評価を維持している。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	利用料金等の収入は目標未達となったが、プラネタリウム番組数及び観覧者数が増加したことも影響し、利用者数は目標に対し142%達成と高い達成率となった。	コロナ禍の影響は残る中でも、積極的な利用目標を設定しほぼ達成していること、また、利用者アンケートにおいても高評価を得ていることから、概ね目標は達成できている状況である。
今後の取組	新型コロナウイルス感染症の影響により来場者数を制限する団体も残るため、利用者数はコロナ前の水準まで回復していないが、引き続き、SNS、ホームページ、地域コミュニティアプリピアッツァ(PIAZZA)等を活用しチャンネルを広げた情報発信を継続することで、利用増加に繋げる。	引き続き、施設設備の適切な維持管理や利用者の安全確保に努め、アフターコロナに対応した新たな取組の実施により、新規利用者の獲得や利用者満足度の向上を期待する。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの